

～浜松国際ピアノコンクール優勝者と  
巡ろう世界の名曲の旅～

広く親しまれているクラシックの名曲で皆様を世界の旅にお連れします。  
旅のハイライトは音楽の都ウィーン。  
モーツァルトのピアノ協奏曲を、昨年の浜松国際ピアノコンクールで  
日本人初の第1位を受賞された鈴木愛美さんの演奏でお楽しみください。  
ナビゲーターは浜松市出身のフリーアナウンサー松本志のぶさん。  
迫力あるオーケストラの響きと華麗なピアノの音色で巡る名曲の旅、さあ皆様と一緒にでかけましょう!

指揮  
佐々木 新平 Shimpei Sasaki

秋田県出身。東京学芸大学を経て桐朋学園大学にて指揮を専攻。飯守泰次郎、秋山和慶、小泉ひろしの各氏に師事。その後ヨーロッパ各地の国際指揮マスタークラスに選抜され、J.パヌラら巨匠たちの薫陶を受ける。2013年よりミュンヘンへ留学。ドイツを中心にヨーロッパ各地でさらなる研鑽を積んだ。2012年の第9回、2017年の第10回フィテルベルク国際指揮者コンクールにおいてディプロマ、2015年ブザンソン国際指揮者コンクールにおいては本選最終の8人に選出された。これまで国内主要楽団に客演。2015-19年東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団アソシエイト・コンダクター。2021-24年ヤマハ吹奏楽団常任指揮者を経て現在名誉指揮者。2024年11月東京吹奏楽団正指揮者に就任。あきた芸術劇場ミルハスにおいては2022年のオープン以来音楽部門アドバイザーを務める。現在オーケストラを中心に、吹奏楽、合唱、オペラ、バレエ等あらゆるシーンで才能を発揮。そのほか多彩なイベントやレコーディングの指揮、ワークショップの開催、テレビ、ラジオ、映画への出演に至るまで多方面に活動の幅を広げている。しなやかな足取りで、ひたむきに遙かなる高みに向かう若き指揮者。



ピアノ独奏  
第12回 浜松国際ピアノコンクール第1位  
鈴木 愛美 Manami Suzuki

2002年大阪府生まれ。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、東京音楽大学器楽専攻(ピアノ演奏家コース)を首席で卒業。現在、東京音楽大学大学院修士課程に特別特待奨学生として在学中。2020年度より毎年「東京音楽大学ピアノ演奏会～ピアノ演奏家コース成績優秀者による～」に出演。浜松国際ピアノアカデミー2023、2024に参加。2024年、第45回霧島国際音楽祭にてエリソ・ヴィルサラーゼクラスを受講。これまでに、稲垣千賀子、佐藤美秋、石井理恵、仲田みずほ、橋高昌男、高田匡隆、石井克典の各氏に師事。2023年8月、第47回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリおよび聴衆賞、あわせて、文部科学大臣賞、スタインウェイ賞受賞。同年10月、第92回日本音楽コンクールピアノ部門第1位および岩谷賞(聴衆賞)、野村賞、井口賞、河合賞、三宅賞、アルゲリッチ芸術振興財団賞、INPEX賞受賞。2024年11月、第12回浜松国際ピアノコンクールにて日本人初となる第1位、および室内楽賞、聴衆賞、札幌市長賞、ワルシャワ市長賞を受賞。



ナビゲーター  
松本 志のぶ  
Shinobu Matsumoto

静岡県浜松市出身。上智大学外国語学部卒業後、日本テレビに入社。「24時間テレビ」総合司会、「行列のできる法律相談所」レギュラーMC、「ズームイン!!朝!」、五輪現地キャスターなどを務め、報道・情報・ニュース・バラエティ各種番組で活躍。2009年よりフリーアナウンサーとして、TBS「教科書にのせたい!」レギュラーMCなども務め、また、テレビだけでなく、報知新聞「報知映画賞」選考委員や、クラシックコンサートの司会、子どものための読み聞かせコンサートでの朗読、洗足学園音楽大学客員教授を務めるなど、活動の場を広げている。

管弦楽  
浜松交響楽団



『楽器のまちから音楽のまちへ』との願いをこめて1976年(社)浜松青年会議所により設立。1978年に財団法人となり、2012年4月より公益財団法人へ移行。2026年に創立50周年を迎える。  
春と秋の年2回の定期演奏会、小学校や中学校でのオーケストラ教室など、地域に根ざした活動を続けている。2000年度サントリー地域文化賞、静岡県知事賞、NHKあけぼの賞、2006年第59回中日文化賞を受賞。現在団員数120名。

【アクト中ホール座席表】全席指定

